



2022年8月15日

各位

会社名 株式会社 スカラ  
代表者名 取締役 代表執行役社長 榑野 憲 克  
(コード番号：4845、東証プライム)  
問合せ先 経理部長 上代 大 輔  
(TEL 03-6418-3960)

### 2022年6月期通期連結業績予想と実績との差異及び減損損失の計上 並びに個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ

2022年5月16日に公表しました2022年6月期(2021年7月1日～2022年6月30日)の通期連結業績予想と本日公表した実績に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、のれんの減損損失および個別決算における特別損失を計上しましたので、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年6月期連結業績予想と実績の差異(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 9,900	百万円 0	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.00
実績(B)	10,015	△393	△411	△526	△523	△29.66
増減額(B-A)	115	△393	△411	△526	△523	
増減率(%)	1.2	-	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年6月期)	8,712	413	381	3,225	3,065	174.62

※ 2021年6月期及び2022年6月期において、売上収益、営業利益及び税引前利益は、非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております。

## 2. 差異の理由

売上収益につきましては、前期に引き続き EC 事業が好調に推移していることや当期買収した連結子会社が寄与したことにより増収となりましたが、下記 3.に記載のとおり、のれんの減損損失を計上したため、営業利益以下の業績予想を下回る結果となりました。また、当期利益につきましては、不採算事業である連結子会社の株式会社スカラワークスを解散及び清算する決議により、同社を非継続事業へ 152 百万円振替計上した結果、業績予想を下回ることとなりました。

## 3. のれんの減損損失の内容

株式会社コネクトエージェンシーにおいて、秒課金や全通話録音機能を特徴としたワンストップ IP 電話サービスを提供しておりますが、コロナ禍におけるコールセンターニーズ減少傾向の改善が見えてきたものの、当初の収益計画ほどの成長が見込めず再評価した結果、のれん減損損失 252 百万円を計上いたしました。

また、株式会社フォーハンズにおいて、高品質な保育・教育サービスを提供しておりますが、高コストの状況になっており、新たなサービスが軌道に乗るまでの間、当初の収益計画ほどの成長が見込めず再評価した結果、のれん減損損失 105 百万円を計上いたしました。

なお IFRS の規定により、上記の減損損失は営業損失として計上されるため、営業利益以下の各段階損益に影響いたします。

## 4. 個別決算における特別損失の内容

主に、上記 2.に記載の株式会社スカラワークスおよび上記 3.に記載の株式会社フォーハンズにおいて、個別決算にて財政状態および経営成績を保守的に再評価した結果、関係会社株式評価損 574 百万円及び関係会社貸倒引当金繰入額 260 百万円を、当社の個別財務諸表における特別損失として計上いたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損及び関係会社貸倒引当金繰入額は、連結決算においては相殺消去されるため、2022 年6月期(2021 年7月1日～2022 年6月 30 日)の当社の連結業績に与える影響はございません。

以 上